

岡山県感染症週報 2012 年 第 7 週 (2 月 13 日～2 月 19 日)

➤ 3 月 1 日から 3 月 7 日は『子ども予防接種週間』です。

➤ 岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

◆2012 年 第 7 週 (2 / 13 ～ 2 / 19) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 7 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (50 代 男)

5 類感染症 麻しん 1 名 (40 代 女) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 2,013 名 (定点あたり 23.96 人) の報告があり、3 週つづけて減少しました。

○感染性胃腸炎は、わずかに増加しました。

【第 8 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、88 施設ありました (20 日～23 日まで)。

▽岡山市 32 ▽倉敷市 22 ▽備前地域 14 ▽備中地域 9 ▽備北地域 2 ▽真庭地域 8 ▽美作地域 1

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、高梁市の小学校でありました。(2 月 23 日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 2,013 名 (定点あたり 23.96 人) の報告があり、前週 (定点あたり 27.67 人) より減少しました。岡山県ではひきつづき『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。県全体の感染症発生レベルは 3、地域別では岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、備北地域・美作地域がレベル 2 であり、流行が継続しています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。

全国の第 6 週 (2/6～2/12) 定点あたり報告数は 40.34 人で (前週 42.62 人)、2011 年第 42 週以降初めて減少に転じました。定点あたり 50.00 人を越えている県もありますが、30 都府県で減少が見られました。

2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週からわずかに増加しました (定点あたり 7.69 → 8.11 人)。感染性胃腸炎による学級閉鎖が 4 施設でありました。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **麻しん**の発生が 1 名ありました。患者は 40 代の女性で、第 6 週に発生した麻しん患者の接触者です。またこの患者は、2 月 16 日～17 日にグリーンヒルズ津山で開催された「平成 23 年度岡山県介護支援専門員実務研修」に参加しており、岡山県は麻しんの感染拡大防止について注意を呼びかけています ([岡山県：麻しん \(はしか\) の感染拡大の恐れについて](#))。

麻しんはウイルスに感染後、通常 10～12 日の潜伏期間ののち、初期症状として発熱、咳、鼻水、結膜炎症状が現れます。

県内では今年、本例を含め 5 名の麻しん患者が発生しており、いずれも同じ遺伝子型 (D9 型) の麻しんウイルスが検出されております。D9 型は、主に東南アジアで流行している麻しんウイルスで、最初に発生した麻しん患者は、東南アジアへの渡航歴があります。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減

↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

平成23年度子供の予防接種週間について(3月1日から3月7日)

入園、入学を前に、保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、また予防接種率の向上を図ることを目的に、(社)日本医師会、(社)日本小児科医会、厚生労働省の主催で子ども予防接種週間が実施されます。これにあわせ、岡山県においても子ども予防接種週間を実施します。特に麻しん・風しん(MR)の定期予防接種のうち、第2期・第3期・第4期は、接種期間が3月末までであることから、重点的に接種を勧めています。

この期間中は予防接種週間に賛同した医療機関において、それぞれ協力できる日に予防接種を行うとともに、種々の相談にも応じています。母子健康手帳などを確認して、未接種のものがある方は定められた期間内に受けましょう。(国立感染症情報センターHP)

協力医療機関：県内381医療機関(2月2日現在)

[岡山県医師会](#)、[岡山県健康推進課](#)ホームページに掲載しています。

【ご注意】予防接種を受ける際には、必ず前もって医療機関に予約、相談をしてください。

医療機関によって接種できる時間や、ワクチンの種類が決まっているところがあります。

予防接種についてのお問い合わせは、お住まいの市町村の予防接種担当課、またはお近くの保健所までお願いします。また、実際の接種にあたっては、かかりつけ医によくご相談ください。

また、岡山県では「岡山県予防接種センター」(川崎医科大学付属川崎病院内)を開設しています。

岡山県予防接種センター：電話相談 086-225-2355

相談日時 毎週火曜日・金曜日 13:00～16:00

【麻しんの予防接種について】

岡山県では今年に入り、麻しん患者の発生がつついています。麻しんは感染力が非常に強く、発症すると通常7～10日後には回復しますが、重症化すると重篤な合併症や、生命に関わる場合があります。

麻しんは2回の予防接種で防ぐことができ、ワクチン接種が最も有効な予防法です。接種年齢に達したら、なるべく速やかに接種することが勧められています。該当の年齢で未接種の方は該当の期間中に確実に予防接種を受けましょう。

第1期	生後12ヶ月から24ヶ月未満の間
第2期	5歳以上7歳未満の者で、小学校就学前の1年
第3期	中学校1年生に相当する年齢の者(年度内に13歳になる者)
第4期	高校3年生に相当する年齢の者(年度内に18歳になる者) ※平成23年度は、学校行事で海外へ行くなどの高校2年生相当の方も対象になります。

保健所別報告患者数

数字は感染症マップにおいてレベル3、

数字は感染症マップにおいてレベル2を示しています。

インフルエンザ情報 第7週 2012年2月13日～2月19日

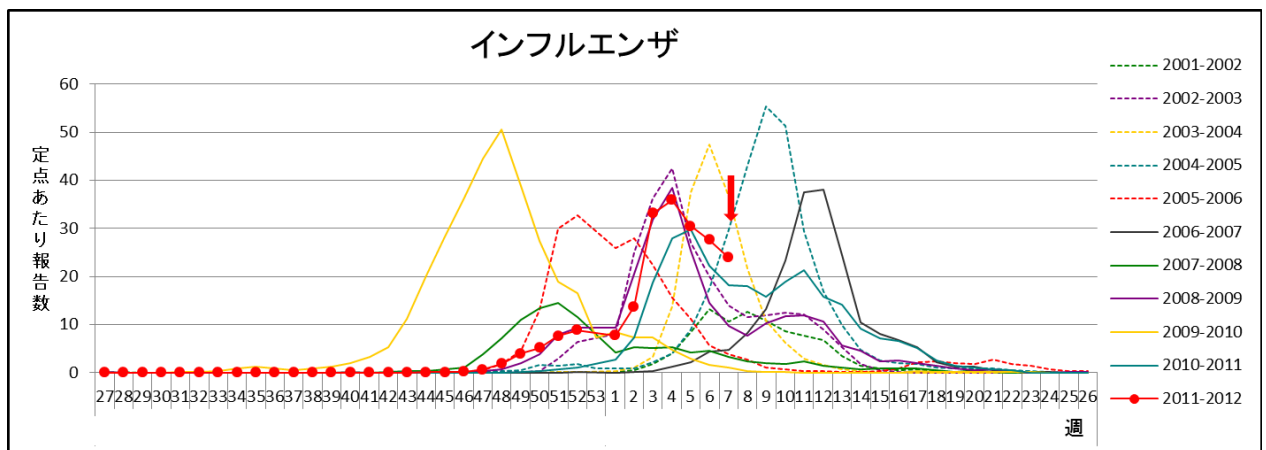
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 2,013 名（ 定点あたり 23.96 人 ）となり、3 週連続で減少しました。
- 県全体では感染症発生レベル 3 で、流行が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 98 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、5 名ありました。

【速報】第 8 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 88 施設でありました。（ 20 日～23 日まで）

▽岡山市 32 ▽倉敷市 22 ▽真庭市 8 ▽井原市 5 ▽玉野市 4 ▽瀬戸内市 3 ▽和気町 3 ▽備前市 2
▽総社市 2 ▽高梁市 2 ▽早島町 2 ▽赤磐市 1 ▽吉備中央町 1 ▽美作市 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 2,013 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 23.96 人 ）であり、3 週連続で前週（ 2,324 名 定点あたり 27.67 人 ）より減少しました。岡山県は、ひきつづき県内に『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。地域別では、真庭地域（ 53.67 人）、倉敷市（ 34.25 人）、備前地域（ 25.67 人）、岡山市（ 21.18 人）、備中地域（ 19.33 人）、美作地域（ 15.00 人）、備北地域（ 11.83 人）の報告があり、備北地域を除く県内全域で減少しました。しかし真庭地域や倉敷地域では依然として定点あたり 30.00 人を越えており、患者が多い状態が続いています。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、美作地域・備北地域がレベル 2 であり、患者数は減少したものの流行は継続しています。

県内のインフルエンザウイルスの主流は AH3 型ですが、B 型の流行も確認されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがあります。ひきつづき『外出後や食事の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケット^{*}を心がけましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

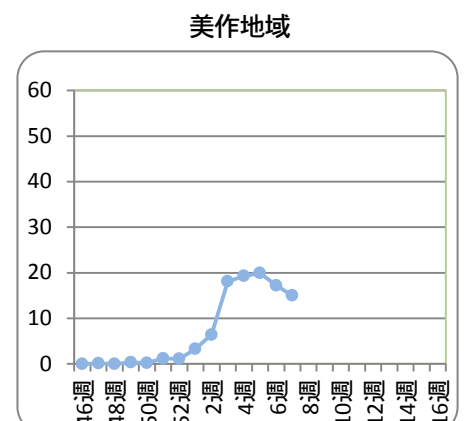
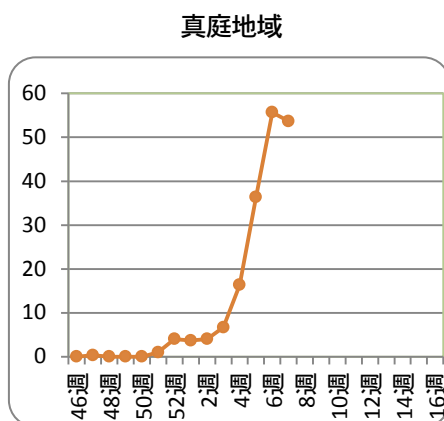
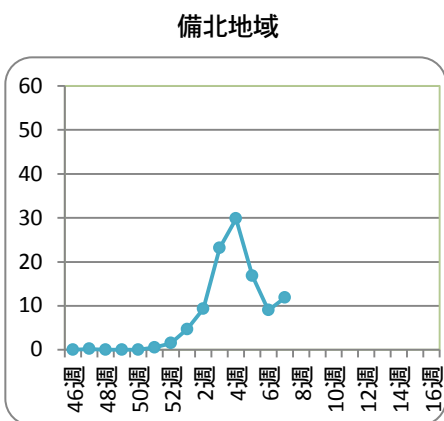
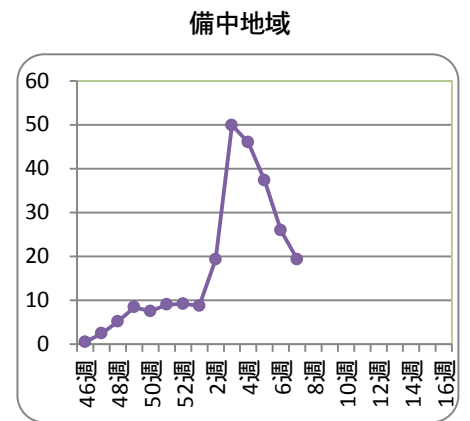
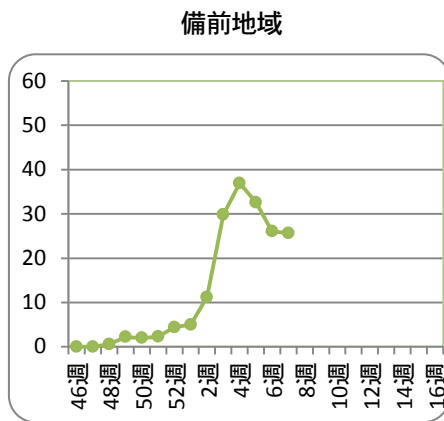
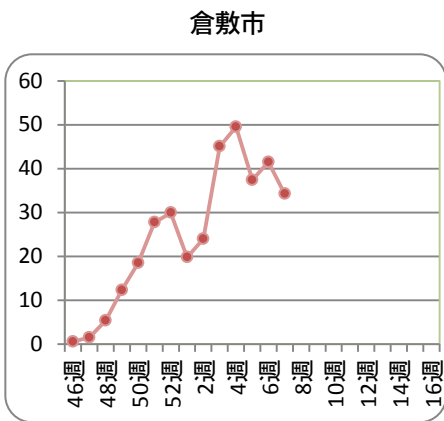
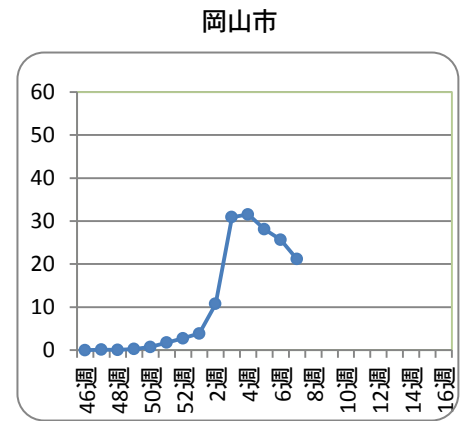
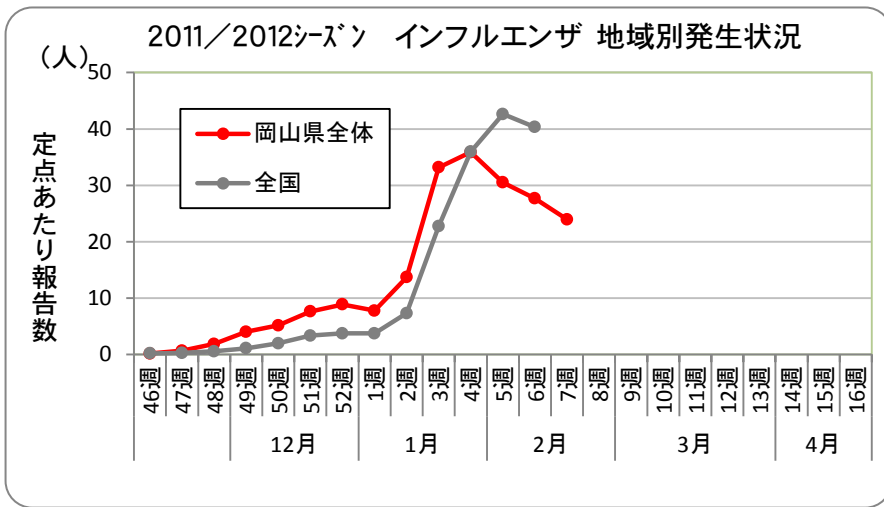
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 地域別発生状況

第7週 (2/13~2/19) 前週からの推移 (単位: 人)

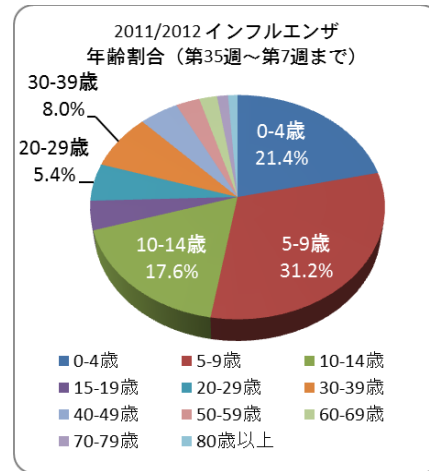
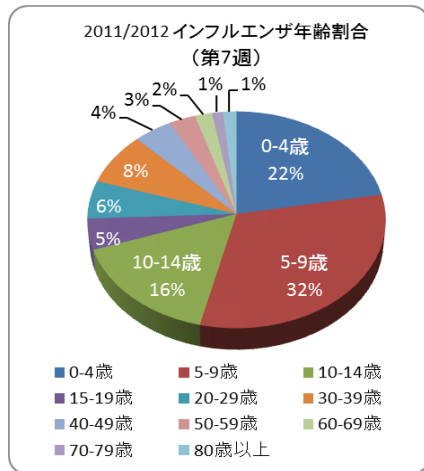
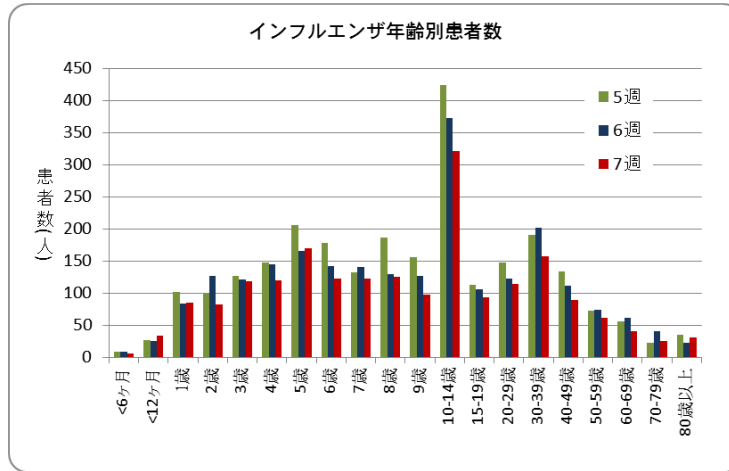
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,013	↓	備 中	患者数	232	↓
	定点あたり	23.96			定点あたり	19.33	
岡山市	患者数	466	↓	備 北	患者数	71	↑
	定点あたり	21.18			定点あたり	11.83	
倉敷市	患者数	548	↓	真 庭	患者数	161	↑
	定点あたり	34.25			定点あたり	53.67	
備 前	患者数	385	→	美 作	患者数	150	↓
	定点あたり	25.67			定点あたり	15.00	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↑ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第7週（2/13～2/19）

第7週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の32%で最も多く、0-4歳が22%、10-14歳が16%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が患者の多くを占めています。



➤ インフルエンザウイルス検出状況 第7週（2/13～2/19）

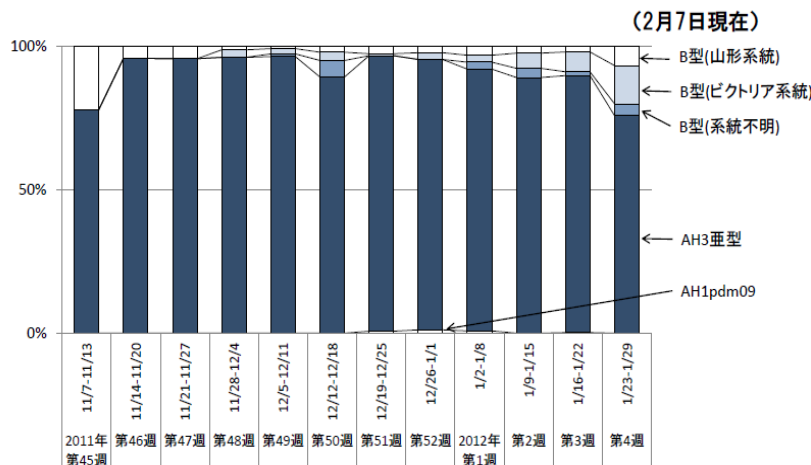
第7週に当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスはAH3型が31株、B型が3株です。

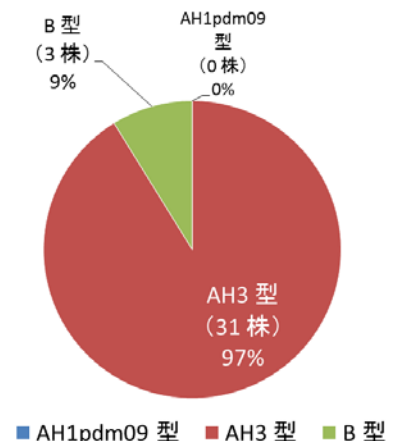
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く88.4%（1,790株）、B型が11.3%（228株）、AH1 pdm09型が0.3%（6株）の順になっています。AH3型が主流ですが、B型の検出も増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)

全国 インフルエンザウイルスの亜型の動向 (2011/2012シーズン)



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n=34)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第7週(2/13~2/19)

学校等の臨時休業が県内全域の98施設でありました。

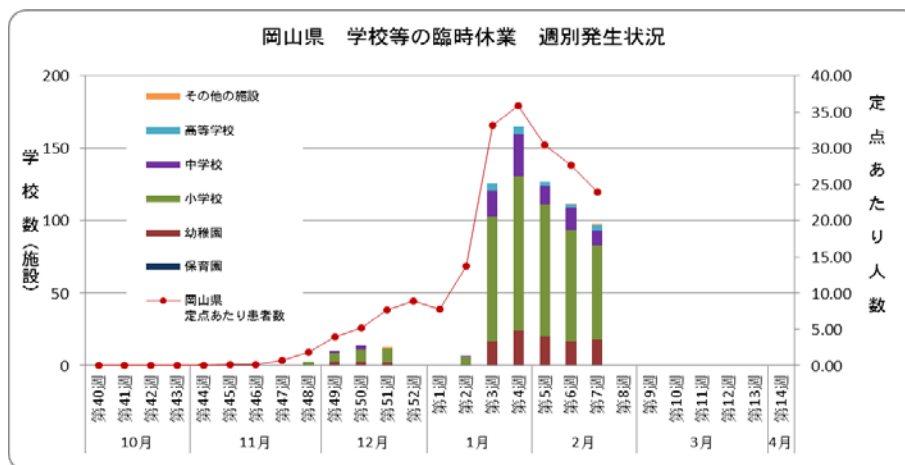
措置別：休園・休校 4施設、学年閉鎖 23施設、学級閉鎖 71施設

施設別：幼稚園 18施設、小学校 65施設、中学校 10施設、高等学校 4施設、その他 1施設

有症者数は1,292名、うち欠席者数964名でした。

第7週までの合計は、有症者数11,145名、うち欠席者数8,031名、施設数はのべ676施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第7週】

(第8週発生 of 臨時休業数の掲載は、第8週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1,292	11,145	964	8,031	98	676	4	25	23	188	71	463	H23.10.31
岡山市	586	4,827	423	3,301	38	267	1	3	7	47	30	217	H23.12.15
倉敷市	285	2,587	214	1,924	25	145	1	4	3	23	21	118	H23.10.31
備前地域	187	1,328	149	1,078	15	93	0	4	5	40	10	49	H23.12.5
備中地域	58	1,136	47	943	6	92	1	7	1	37	4	48	H23.11.30
備北地域	78	279	62	194	8	25	0	1	4	11	4	13	H24.1.16
真庭地域	40	412	28	239	3	17	0	3	2	10	1	4	H24.1.13
美作地域	58	576	41	352	3	37	1	3	1	20	1	14	H24.1.16

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第7週(2/13~2/19)

岡山市：幼稚園8 小学校24 中学校4 高等学校1 その他1

倉敷市：幼稚園5 小学校17 中学校3

備前地域：幼稚園3 小学校11 中学校1

備中地域：小学校5 中学校1

備北地域：幼稚園1 小学校3 中学校1 高等学校3

真庭地域：小学校3

美作地域：幼稚園1 小学校2

第7週：98施設

累計：676施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	18	104	65	460	10	90	4	19	1	3

【第8週 学校等の臨時休業 速報】(2/20～2/23まで)】

【措置別】

休校施設：倉敷市1、井原市1、高梁市1、真庭市3、

学年閉鎖施設：岡山市6、倉敷市5、玉野市2、瀬戸内市2、和気町2、吉備中央町1、井原市1、高梁市1、真庭市5、美作市1

学級閉鎖施設：岡山市23、倉敷市9、備前市2、赤磐市1、玉野市2、瀬戸内市1、和気町1、総社市2、井原市3、早島町2

【施設別】 ▽保育園 0 ▽幼稚園 13 ▽小学校 48 ▽中学校 10 ▽高等学校 0 ▽その他 2

【日付・地域別】

2月20日 ▽岡山市：15 ▽倉敷市：10 ▽備前地域：玉野市3、備前市1、赤磐市1、和気町3、瀬戸内市1、(45施設) 吉備中央町1 ▽備中地域：総社市1、井原市3、早島町1 ▽備北地域：高梁市2
▽真庭地域：真庭市3

2月21日 ▽倉敷市：4 ▽備前地域：玉野市1、瀬戸内市1 ▽備中地域：総社市1、早島町1
(20施設) ▽真庭地域：真庭市1 ▽美作地域：美作市1

2月22日 ▽岡山市：4 ▽倉敷市：1 ▽備前地域：瀬戸内市1 ▽真庭地域：真庭市1
(7施設)

2月23日 ▽岡山市：3 ▽倉敷市：7 ▽備前地域：備前市1 ▽備中地域：井原市2 ▽真庭地域：真庭市3
(16施設)

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第7週 (2/13～2/19) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

第7週、インフルエンザによる入院患者5名(幼児2名、60代1名、70代1名、80代以上1名)が報告されました。入院患者の多くは、70歳以上の高齢者(40%)と5歳以下の幼児(35%)です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第7週 入院患者数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1								1	1	1	5
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)													
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	1								1	1	1	5

*重複あり

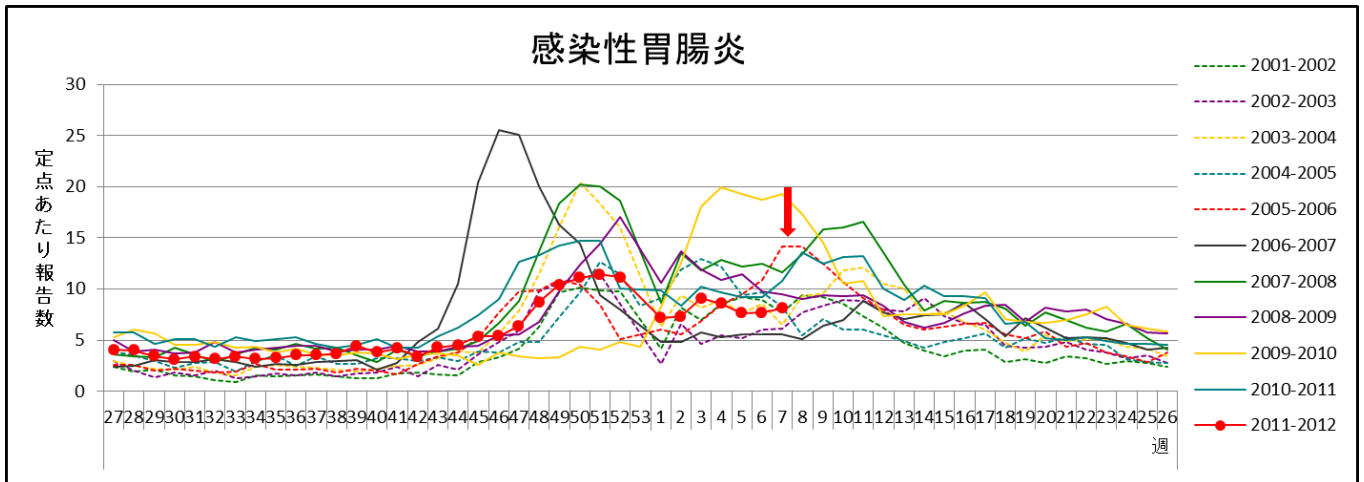
【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	7	17	8	2	1	1	1			4	11	17	69
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	3	1	1						4	1	16
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5									3	1	9
いずれにも該当せず	7	9	5	1		1	1			3	5	16	48

*重複あり

感染性胃腸炎情報 第7週 2012年2月13日～2月19日

- 岡山県内の患者報告数は 438 名（ 定点あたり 8.11 人 ）で、わずかに増加しました。
- 感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市・倉敷市・早島町・津山市の計4 施設でありました。
- 【第 8 週 速報】感染性胃腸炎による学級閉鎖が、高梁市の小学校でありました。（2月23日）

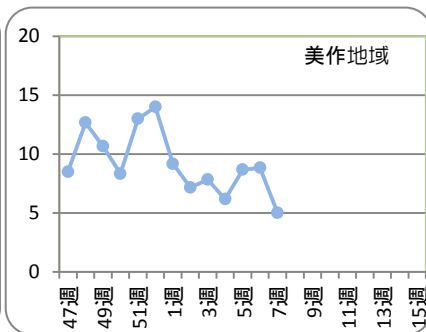
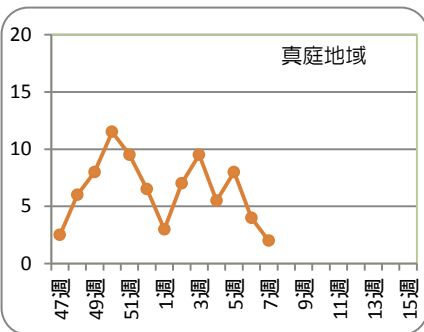
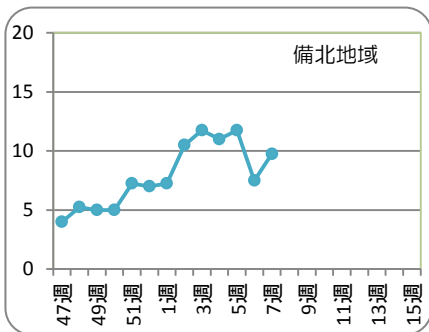
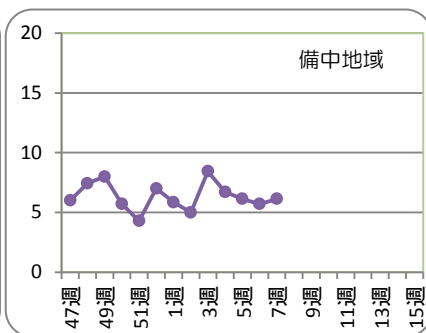
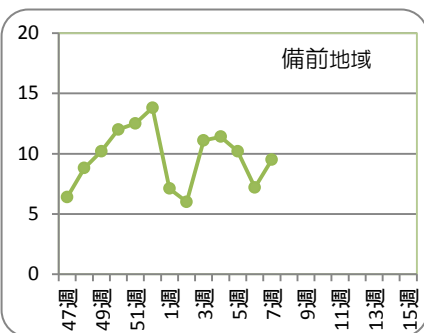
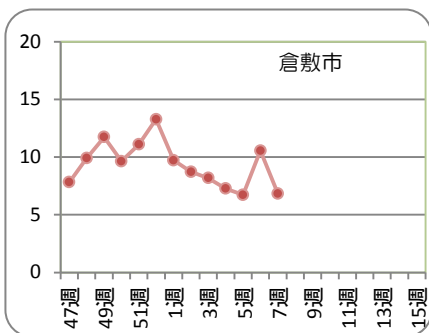
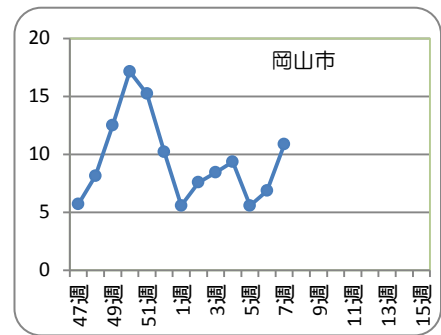
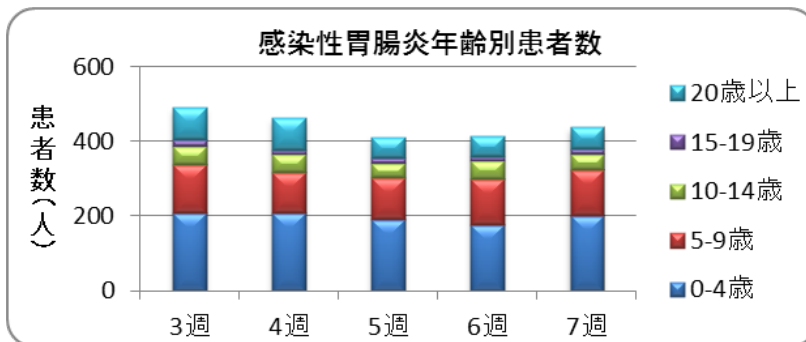


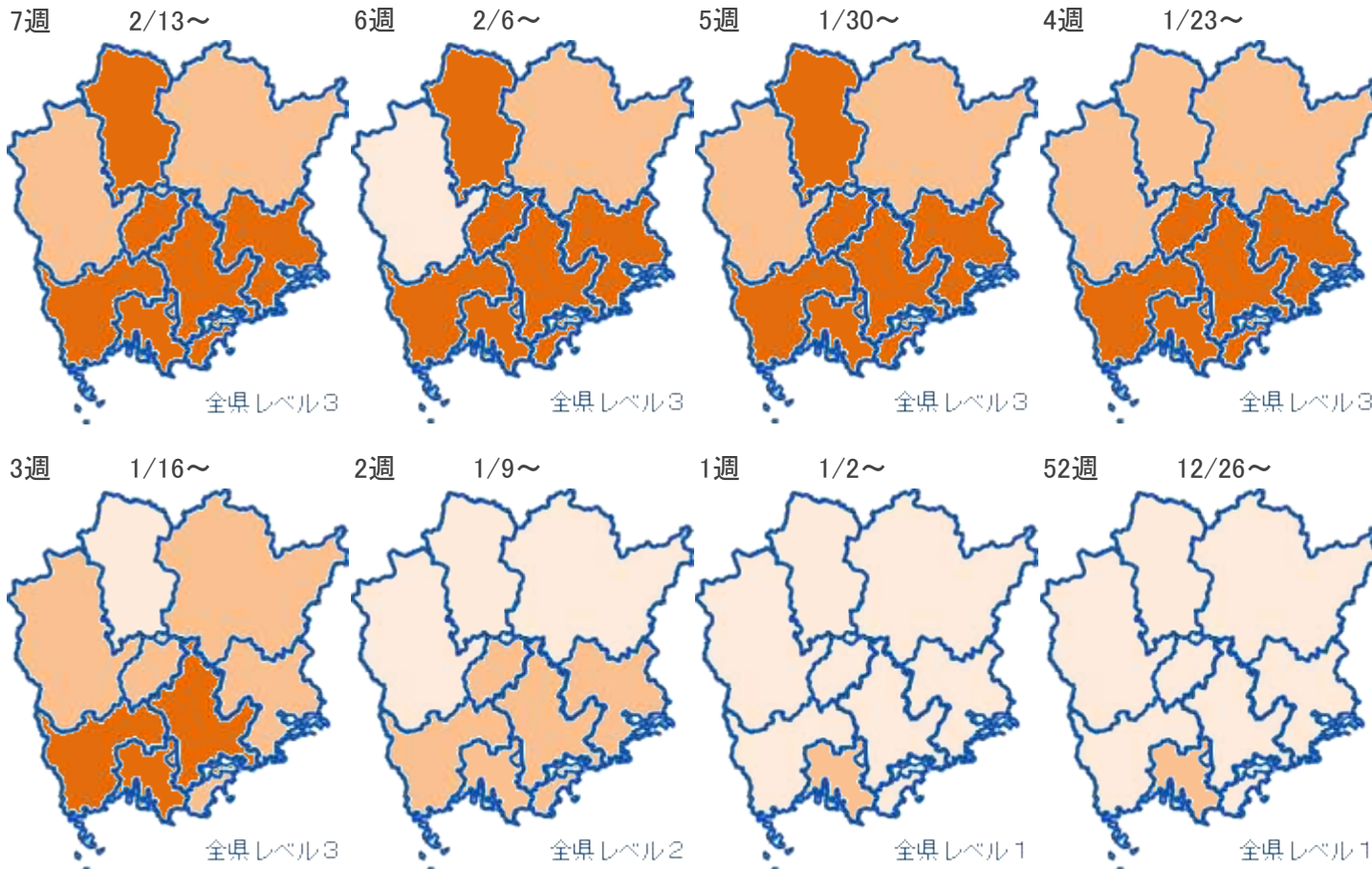
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、わずかに増加しました（54 定点医療機関 定点あたり 7.69 → 8.11 人）。地域別では、岡山市（10.86 人）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

第7週、感染性胃腸炎による臨時休業が4 施設でありました。全国ではノロウイルスによる食中毒・集団感染事例も多数発生しています。『手洗いを励行する』『食品は加熱して食べる』など感染予防に努めましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)





インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2012年 7週 (2012/02/13~2012/02/19)

2012年2月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2013	23.96	466	21.18	548	34.25	385	25.67	232	19.33	71	11.83	161	53.67	150	15.00
RSウイルス感染症	8	0.15	4	0.29	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	9	0.17	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	9	0.64	22	2.00	-	-	3	0.43	-	-	6	3.00	13	2.17
感染性胃腸炎	438	8.11	152	10.86	75	6.82	95	9.50	43	6.14	39	9.75	4	2.00	30	5.00
水痘	66	1.22	20	1.43	17	1.55	20	2.00	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
手足口病	13	0.24	6	0.43	5	0.45	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
突発性発疹	17	0.31	8	0.57	1	0.09	2	0.20	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	34	0.63	13	0.93	11	1.00	1	0.10	7	1.00	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	1.60	4	4.00	3	3.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 7週 (2012/02/13~2012/02/19)

2012年2月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2013	23.96	466	21.18	548	34.25	385	25.67	232	19.33	71	11.83	161	53.67	150	15.00
咽頭結膜熱	9	0.17	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	9	0.64	22	2.00	-	-	3	0.43	-	-	6	3.00	13	2.17
感染性胃腸炎	438	8.11	152	10.86	75	6.82	95	9.50	43	6.14	39	9.75	4	2.00	30	5.00
水痘	66	1.22	20	1.43	17	1.55	20	2.00	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
手足口病	13	0.24	6	0.43	5	0.45	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	34	0.63	13	0.93	11	1.00	1	0.10	7	1.00	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第7週 2012/02/13~2012/02/19)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	2013	6	33	85	82	119	120	170	122	122	125	98	321	93	114	157	89	61	40	25	31

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	8	3	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	-	1	4	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	-	1	1	4	7	7	10	8	3	2	3	6	-	1
感染性胃腸炎	438	2	24	65	43	28	39	45	29	22	16	10	42	14	59
水痘	66	-	1	12	10	12	10	6	2	5	-	-	5	-	3
手足口病	13	-	2	1	5	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
突発性発疹	17	-	7	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	34	-	4	1	4	3	4	3	8	1	-	2	4	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	1	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

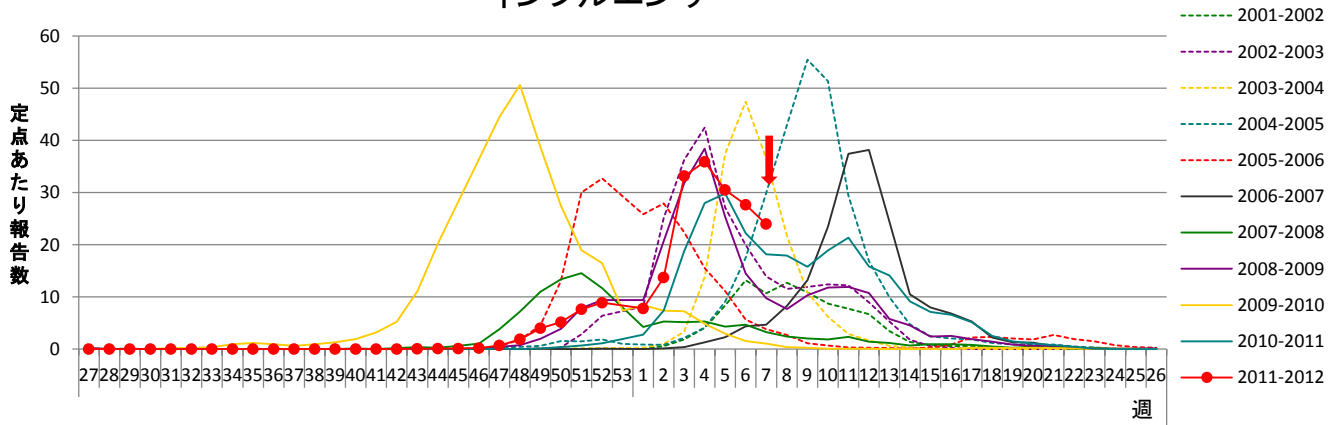
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

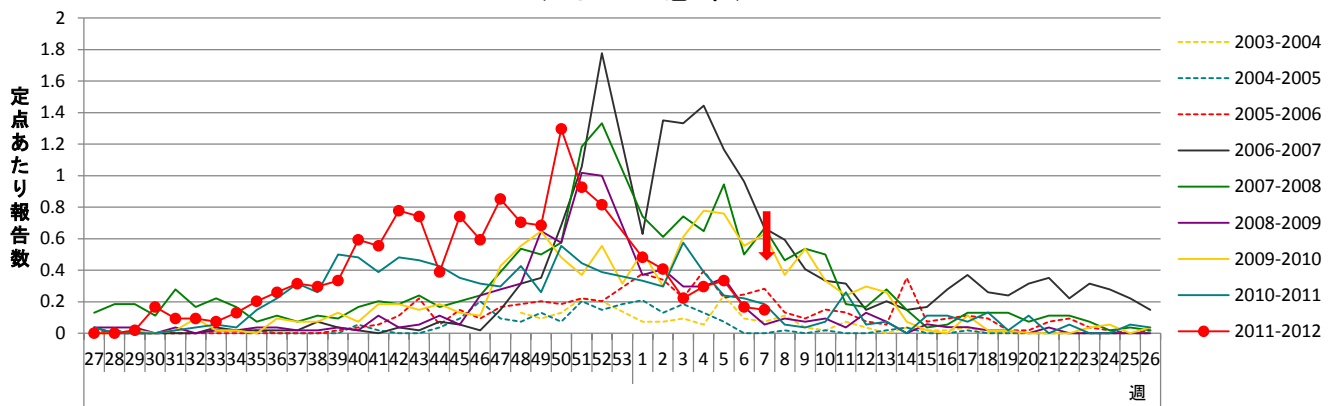
2012年 7週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	14	546	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	2	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	1	2	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	1	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	3	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	1	5	4		-	-	-		-	-	-

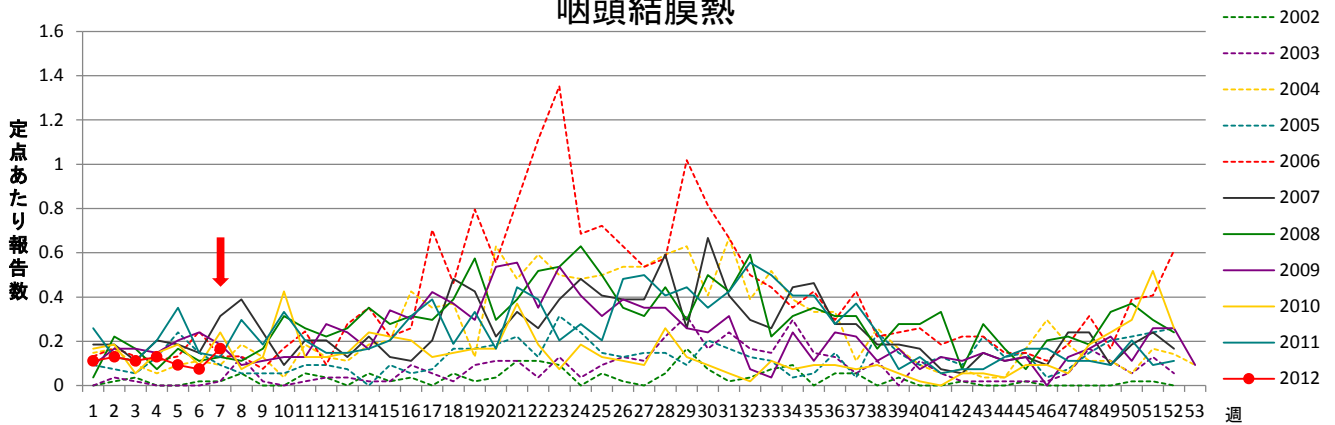
インフルエンザ



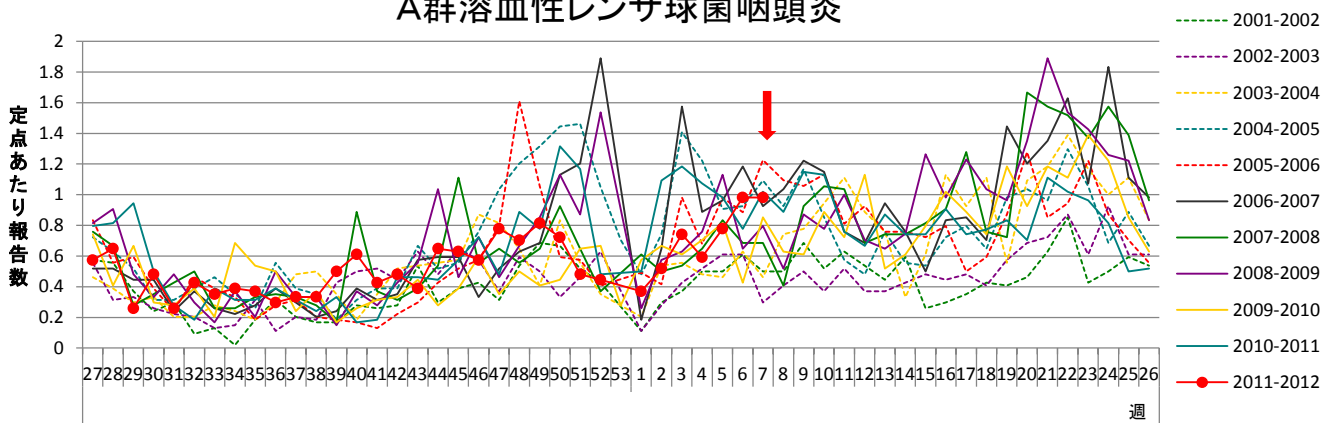
RSウイルス感染症



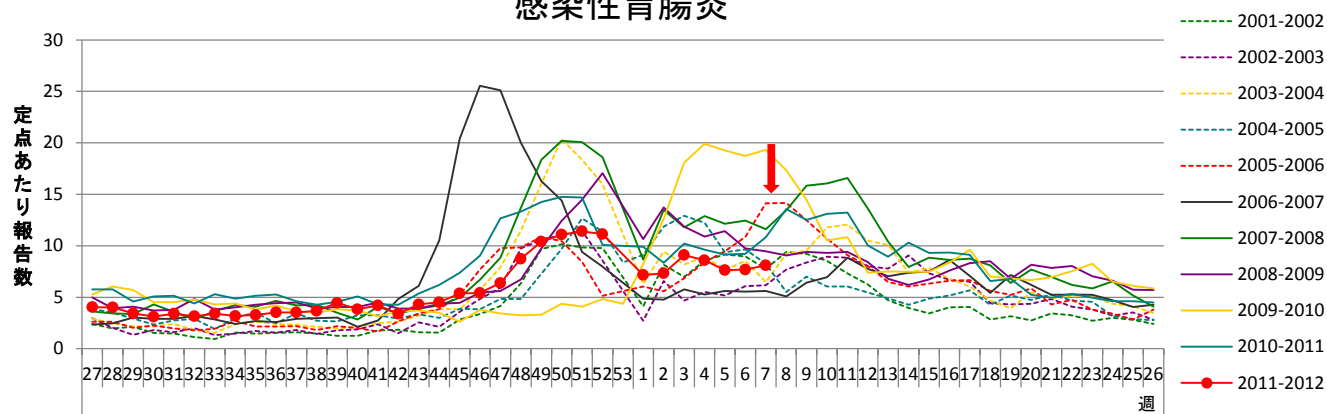
咽頭結膜熱



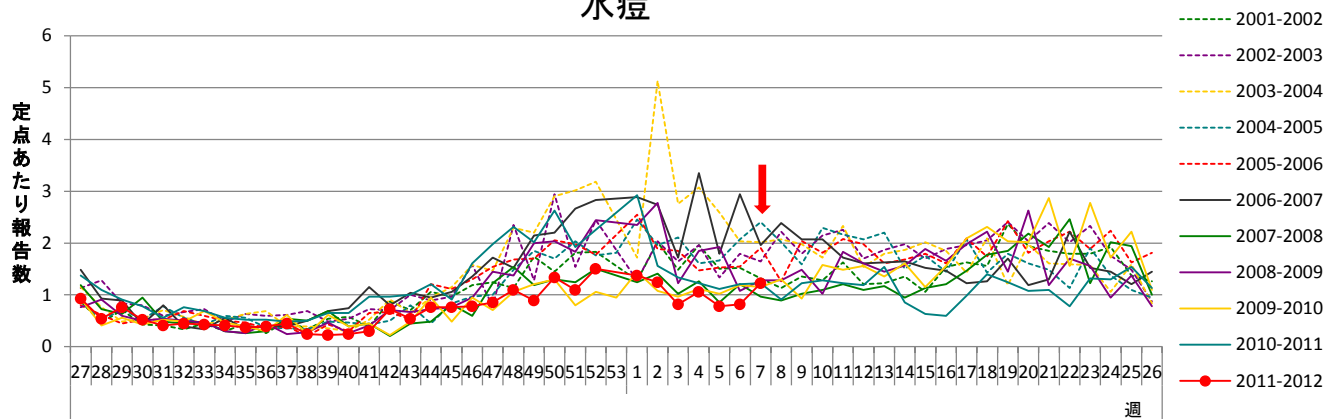
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



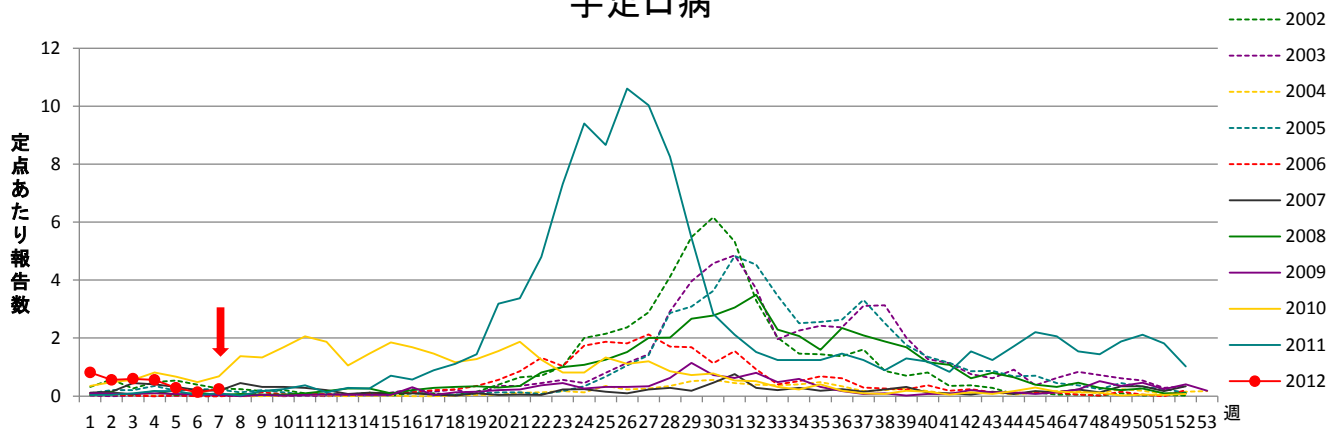
感染性胃腸炎



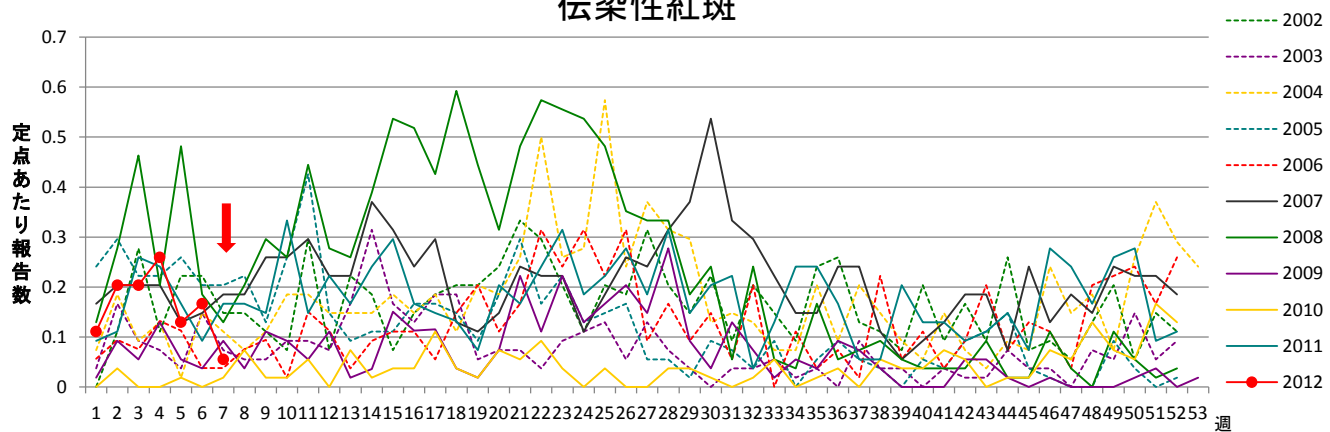
水痘



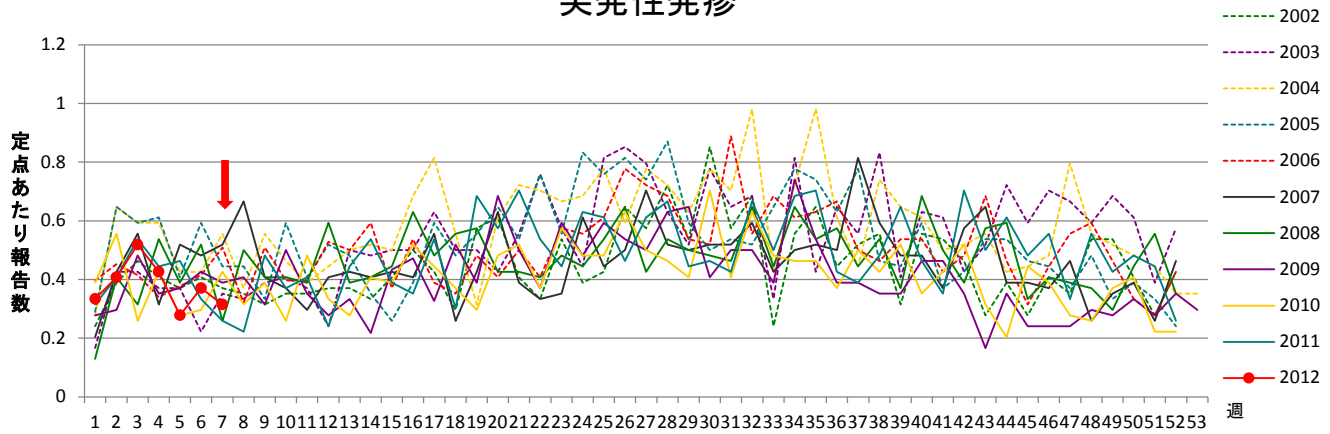
手足口病



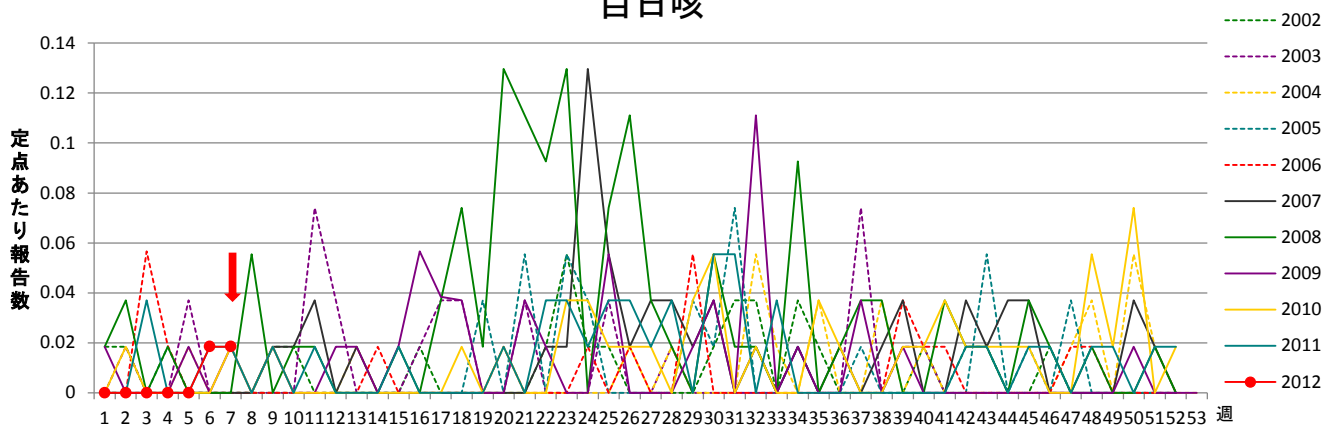
伝染性紅斑



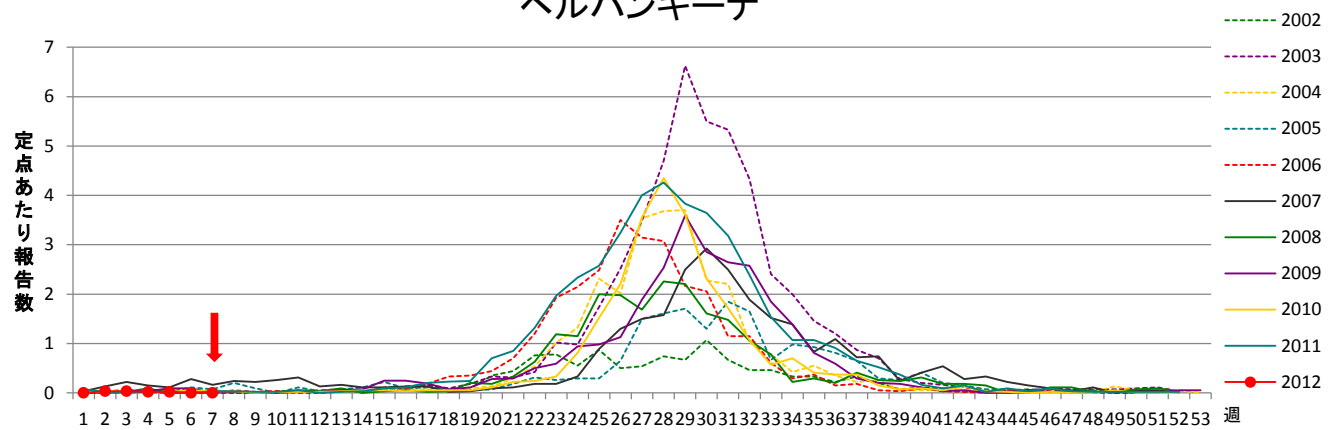
突発性発疹



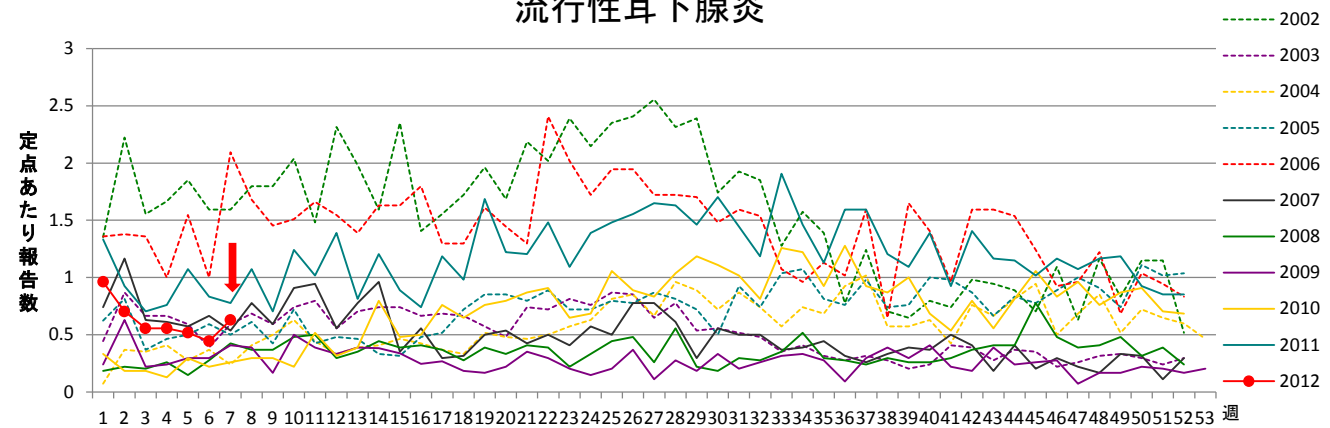
百日咳



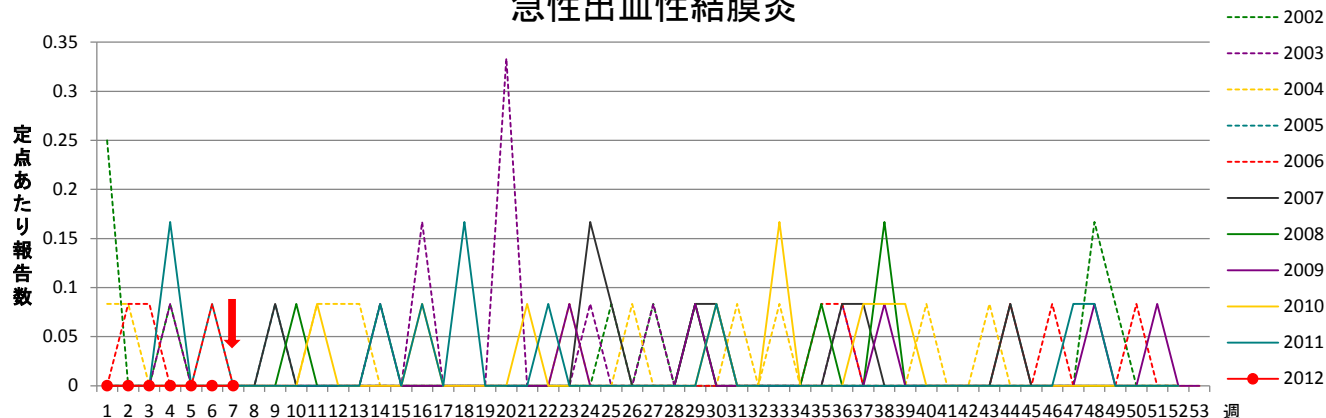
ヘルパンギーナ



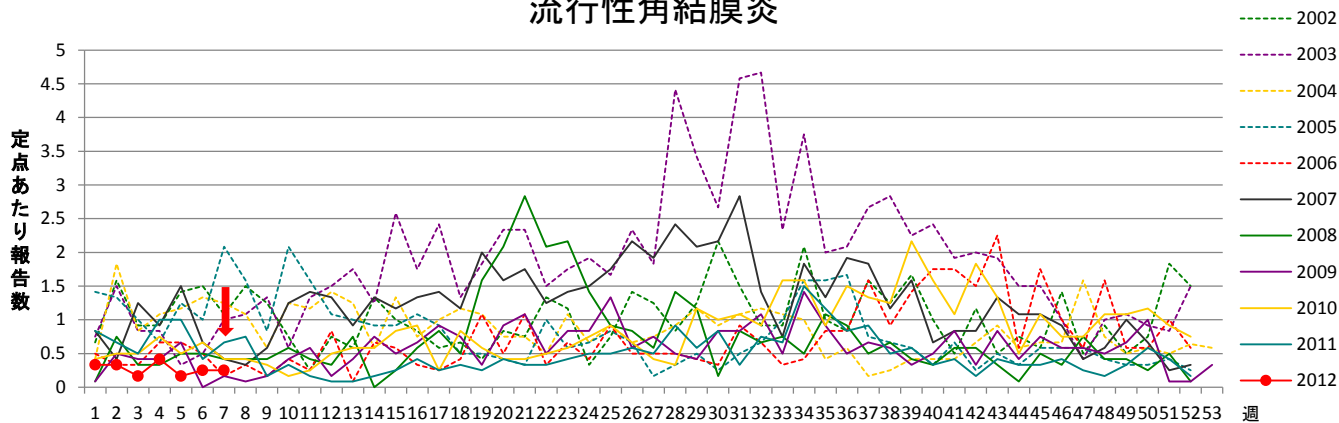
流行性耳下腺炎



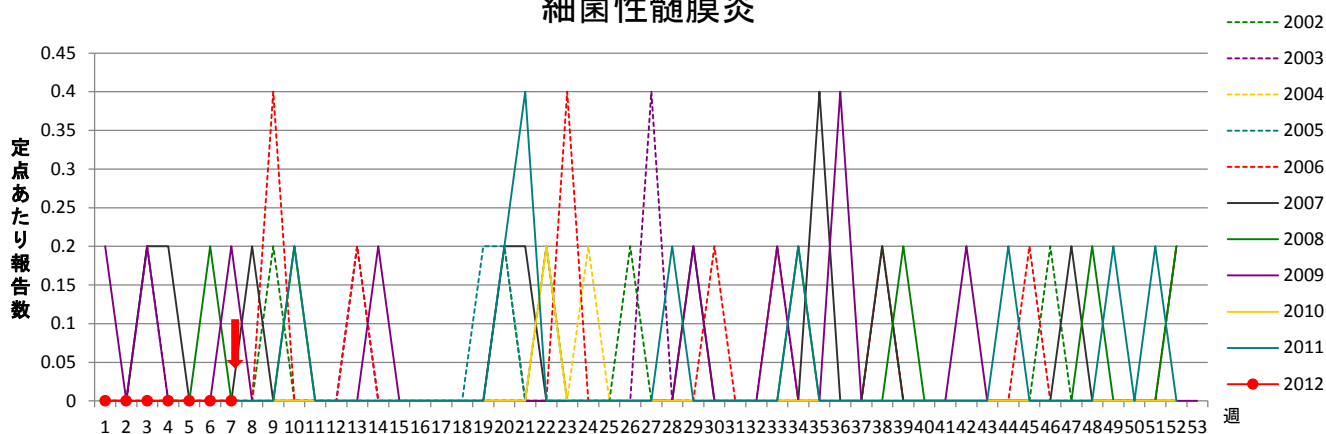
急性出血性結膜炎



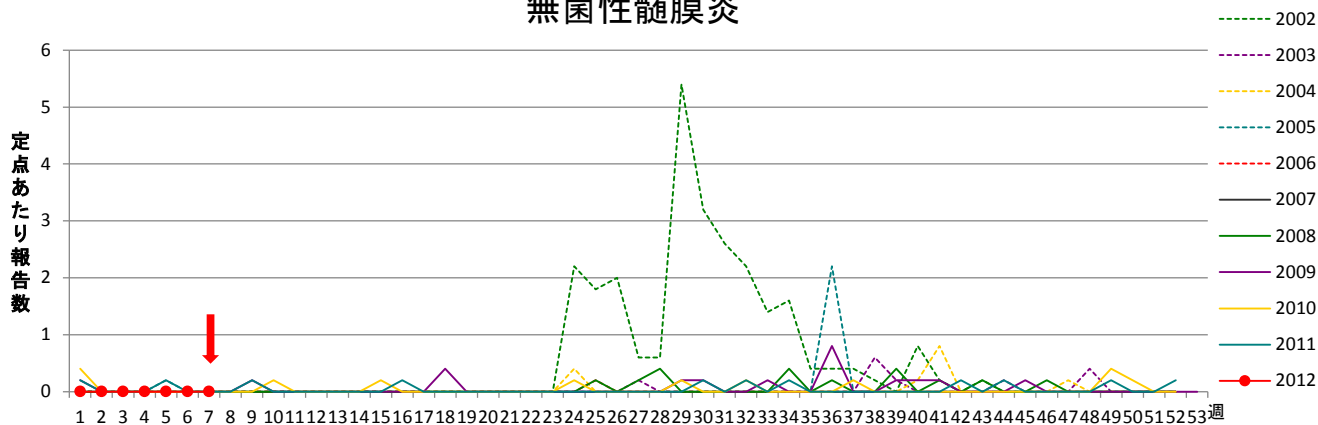
流行性角結膜炎



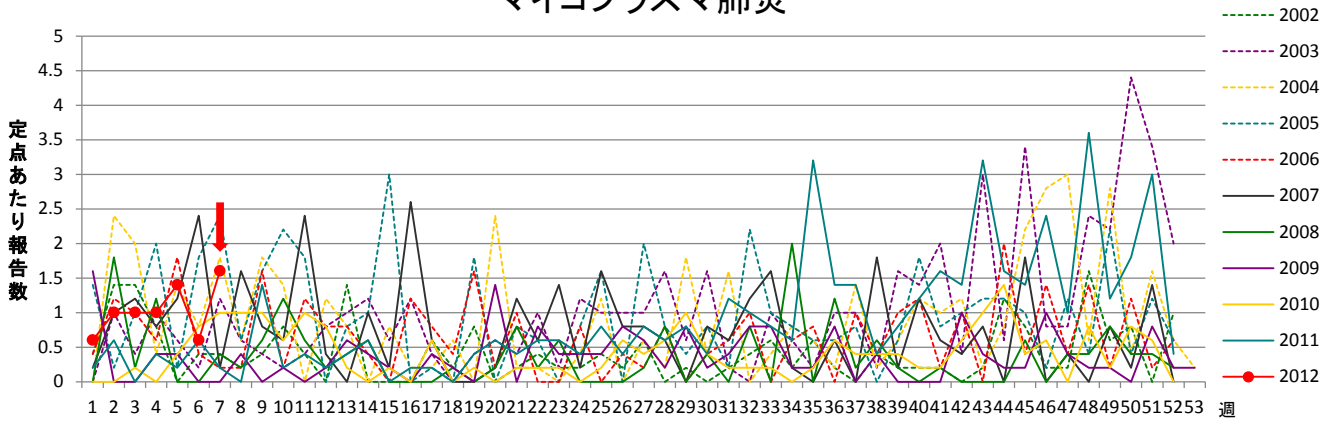
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

